

1970.12.25

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 10

福岡市大字箱崎
九州大学大型計算機センター
共同利用掛 (TEL 092-64-1101)
内線 5337

◇ 1 12月17日より処理プロのレベルアップにともない、修正された点、およびいまだに制限事項となつていものがありますのでお知らせいたします。

(I) すべてのジョブに関して

(1) コンパイル時 LIED 時、実行時

完了コード499で終つておりましたらセンターに連絡してください。

(2) 登録したソースファイルのメンバー名指定 (ELMNAMEの指定) を有効にした。

(II) FORTRAN

修正された点

(1) OPTIÖN文でÖMIT指定をしますと

FÖRMAT分解をコンパイル時に行うより修正

*実行時間が短くなります。

(2) 配列の添字が定数1の場合 複素数の値が正しくはいらなかつたのを修正

例 $C(1) = (0.0, 0.0)$

(3) 文関数に文の番号があると正しくコンパイルしなかつたものをするように修正

(4) OPTIÖN文のÖMIT指定で、サブルーチンのパラメータ数のチェックを行なわない場合、呼ぶ例のパラメータの数が、呼ばれた側のパラメータ数より少ない時、呼んだステートメント (CALL文) の次のステートメントが実行されない事があつたのを修正。

(5) Dタイプで文関数の仮引数を配列の添字に使用した場合、正しい値がはいらなかつたのを修正

制 限 事 項

(1) Dタイプで同じREAD文でデータを読み込んだ変数を配列の添字式に使用できない。

例 $READ(5, 100) (I, J, U(I, J))$

(2) Dタイプで多重代入文が使用できない。

(3) OPTIÖNで ÖMIT指定をする時

入出力文のFÖRMAT指定で配列名のもものがあつてはならない。

◇2. サブルーチンQDLIST及び広報VOL.3, 4.6でお知らせしましたサブルーチンVLIM,
TITLE, PAGEは12月17日の処理プロのレベルアップにもない、多少変更が生じました。
従つて、当分の間使用できませんので御了承ください。